

年度評価シート

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市清水ナショナルトレーニングセンター 清水日本平運動公園球技場庭球場 静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド 静岡市清水庵原球場	指定管理者名 トレセングループ管理運営共同事業体 代表企業 静岡市まちづくり公社
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>各施設とも、各種設備の保守点検等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>また、第三者委託において、他施設との一括発注が可能なものについては契約を一本化し、コストの削減に努めている。</p> <p>修繕については、トレセングループで安全委員会を設置し、各施設及び器具等の点検を行い利用者の安全確保と、経年劣化による不具合発生等の未然防止対応に努め、計画的かつ効率的に実施しており、修繕費を有効に活用している。</p> <p>各施設の主な修繕内容は以下のとおりである。</p> <p>【静岡市清水ナショナルトレーニングセンター】 地下ピット内給湯配管修繕、ジム外気処理空調機修繕、消防設備誘導灯等修繕</p> <p>【清水日本平運動公園球技場・庭球場】 散水ポンプオーバーホール修繕、NO.3 照明塔不点修繕</p> <p>【静岡市蛇塚スポーツグラウンド】 乗用芝刈り機オイル漏れ修繕、自動火災報知機バッテリー交換</p> <p>【静岡市清水庵原球場】 移動式防球フェンス・第2球場砂置き場設置、屋外案内看板修繕</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和元年度の利用者数は、4施設全体で673,351人であり、前年度の720,958人と比較して、47,607人減少している。</p> <p>いずれも新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や、Jリーグを含む各種大会、合宿等の中止や延期が主な要因とされる。しかし、清水ナショナルトレーニングセンターのトレーニングジムにおいては、希望者に対して専属トレーナーによるカウンセリングを行う等、一人一人に合わせたトレーニングメニューの提案等を行い、独自の利用促進に努めたことから、新型コロナウイルス感染症による休館前である、2月までの利用者数は前年度の104.2%だった。これにより、利用促進を目的とした事業展開が適切に行われていることがわかる。同施設では、ほかにも会議室における平日利用の促進に向けた「研修会パック」を導入していることから、新型コロナウイルス感染症の流行があったにもかかわらず、令和元年度の年間利用者数は前年度と比較すると101.9%と増加している。</p>	

各施設の利用者数は、次のとおりである。

施設名	利用者数（人）		
	H30 年度	R1 年度	前年度比較
静岡市清水ナショナルトレーニングセンター	259,074	232,651	△ 26,423
清水日本平運動公園 球技場	293,173	286,294	△ 6,879
清水日本平運動公園 庭球場	33,795	33,185	△ 610
静岡市蛇塚スポーツグラウンド	31,871	26,512	△ 5,359
静岡市清水庵原球場	103,045	94,709	△ 8,336
計	720,958	673,351	△ 47,607

（3）事業実施状況

各施設とも事業計画のとおり実施されている。

静岡市清水ナショナルトレーニングセンターでは、令和元年度より中学生ダンス授業必修化や5大構想「まちは劇場」にも結び付く新たな取り組みとして、エンターテイメント企業である avex によるダンス教室を実施。小学4～6年生と中学生から成人までのクラスにわけ、TRF ダンササイズプログラムにより、初心者でもエクササイズをしながら簡単にダンスも身につけられる教室を開催した。最終日には発表会を実施し、参加者の成長を保護者や家族が確認できる場を設けた。今後もさらなる事業展開に期待したい。

清水日本平運動公園庭球場では、静岡市テニス協会と共催し、「静岡市民テニスの日イベント」を実施している。令和元年度で6回目を迎えた同イベントは、約140人が参加し、事前申込み制のレッスン・試合の実施や、例年好評であった親子参加型のイベント、要望の多かった子供を対象にしたイベントを取り入れたことから、経験・未経験を問わず多くの参加者が満足する結果となった。

清水日本平運動公園球技場においては、前年度同様3歳から小学3年生までの児童を対象とした「芝生で運動遊び」を開催した。募集人数70組のところ、78組が参加し、満足度が97%であることから、同イベントの人気の高さがうかがえる。普段入る機会が少ない天然芝グラウンドでの運動は、子供のみならず保護者からも好評を得ている。当日は職員がカメラマンになり、子供の成長過程の記念になるように、イベント風景を写真に収め、参加者がインターネットでダウンロードができるというようなサービスを行っている。写真撮影の際には、事前に参加者からの同意を得て撮影を行い、インターネットへのアクセスの際はパスワードによる保護を行う等、個人情報の管理を徹底していることがうかがえる。

静岡市蛇塚スポーツグラウンドでは、前年に引き続き蛇塚まつりを実施し、参加者数は推定1,800人であった。事前の準備から地元自治会と協力して地域の交流を深め、地域の名産品であるいちごの商品を多くの方々に販売し、地域経済の活性化につなげている。

そのほか、地域交流事業として蛇塚自治会やサッカー協会と協力して、清水特別支援学校を招きサッカー教室や流しそうめん体験会を開催した。当事業を開催し、スポーツに触れ合うことで、スポーツ推進計画で掲げる「障がいのある人のスポーツ活動の推進」につながる機会になるとよい。

静岡市清水庵原球場では、例年に続きティーボール大会を開催し、募集人数80人の

ところ、春は 235 人、冬は 304 人が参加していることから、同イベントの人気の高さがうかがえ野球人口の拡大につながる事業となっている。

その他、各施設の主な事業の状況は、以下のとおりである。

施設名	事業名	募集人数	参加実績	目標満足度	満足度
清水ナショナルトレーニングセンター	エアロビクスイベント	90 人	94 人	95%	100%
	体力チェックイベント	120 人	106 人	95%	100%
清水日本平運動公園球技場	第2期 健康促進運動教室	20 人	18 人	95%	100%
	MOON LIGHT YOGA	120 人	97 人	90%	98.0%
清水日本平運動公園庭球場	第1期 硬式テニス教室	180 人	186 人	95%	98.3%
清水蛇塚スポーツグラウンド	第1期 らくらく体操教室	20 人	20 人	92%	100%
清水庵原球場	ティーボール大会(春)	80 人	235 人	95%	100%

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

各施設において、利用者からの意見・要望に対して迅速な対応がみられると共に、即時対応が困難な要望事項等に対しても、良好な対応がされている。

また、各施設及び静岡市まちづくり公社のホームページにより、意見・要望を積極的に取り入れる体制が整えられている点も評価できる。

【具体的な意見・要望と対応状況】

静岡市清水ナショナルトレーニングセンター

要望

- ・サッカーギャラリー（観戦者）の車は違う所へ置いてもらいたい。

対応

- ・サッカー大会開催時には、主催者側と調整した上で、専用駐車場のみの利用をご案内していること、場合によっては臨時駐車場を用意していることを伝え、混雑緩和と利用者の安全確保に努めた。

清水日本平運動公園球技場

要望

- ・椅子（観客席）の破損箇所から水が出てくるので交換してほしい。

対応

- ・予備の在庫ストックを確保し、至急座席の交換を行い併せて点検も実施した。当事案は、今後もエスパルスと連携を取り対応していく。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用者満足度調査

施設利用者に対して、40 回の満足度調査を行った結果、1,793 人中 1,756 人が、「とても満足・とても良かった」か「満足・良かった」という回答であった。この結果で、97.9%という多くの利用者にとって適切な施設運営がなされていることがわかる。

また、スタッフ対応についての項目についても、いずれの施設も良好な結果となっている。

(2) 市民アンケート

「大浜ビーチフェスタ」、「オレンジスポーツフィールド」の際に合計 374 人を対象にアンケートを実施した。認知度の結果は、静岡市まちづくり公社を「知っている」が 22.7%、「聞いたことがある」が 34.8%であった。

各施設の認知度においては、認知度が高かったのは、清水日本平運動公園球技場・庭球場の 73.5%（前年度 42.4%）、清水ナショナルトレーニングセンターの 58.0%（前年度 41.4%）であった。清水庵原球場は前年度の 19.2%を上回り 32.6%で、蛇塚スポーツグラウンドにおいても前年度の 19.2%を上回り 32.4%と、いずれの施設も認知度が上がっていることがわかった。引き続き、施設の認知度向上を目指すとともに、各施設のHPやSNSの有効活用に期待する。

(3) その他の調査

イベントや教室事業の開催や、利用者に向けたお知らせ等を、各施設のHPやSNSを使い、多様な方法で有効的に周知ができていることがわかる。また、各施設及び静岡市まちづくり公社のホームページにより、利用者からの意見や要望等を収集、分析し、改善点の洗い出し等を実施しており、迅速な対応や今後の管理運営に活かすよう努力していることが評価できる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算のとおり執行されており良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

清水ナショナルトレーニングセンターにおいては、プロ選手によるスポーツクリニック（バスケットボール2回、サッカー1回）を実施している。バスケットボールでは、Wリーグ所属の富士通レッドウェーブ、日立ハイテカーガーズの協力により市内のミニバスケットボールチームに所属する生徒を対象としたスキル向上のためのクリニックを開催。サッカーでは、Jリーグ開幕前のキャンプに訪れていたヴァンフォーレ甲府より、サッカーを通じた地域貢献として、地域のスポーツ少年団に参加を募り、サッカークリニックを開催。Jリーグに出場する選手たちとゲーム形式での交流や、選手から直接アドバイスを受けるなど貴重な機会となった。これらのプロ選手によるスポーツクリニックは、スポーツ推進計画にある、「参加したいと思うスポーツイベント・教室」において、35.5%と最も多いことから、同事業の必要性がうかがえるため、今後もぜひ実施してほしい事業である。

清水庵原球場の親子キャッチボール教室においては、東海大学海洋学部野球部員4人に指導を依頼し、ボールの握り方や体の使い方を丁寧に指導していただいた。これを機に親子のコミュニケーションを増やし、キャッチボールを通して野球への関心を高め、少年野球の競技人口増加につながるとよい。同施設では、スポーツ未経験者や親子を対象にしたイベントを開催し、スポーツ活動への関心を集め、競技人口増加へつながる事業を実施していることがわかる。

清水日本平運動公園球技場では、健康長寿のまちづくりに係る事業として、しずまえウォーキングを実施。水産漁港課と協力し、静岡市の特産品のアピールを行うと同時に清水日本平運動公園球技場の施設見学を行い、静岡市と連携した事業を展開した。スポーツのみならず、静岡市の特産品を活かした事業を今後とも期待したい。同施設では、そのほかに、静岡市子ども会連合会や静岡市国際交流協会等と連携し、天然芝グラウンドを活用した「逃走中・300人鬼ごっこ」「わくわくわいわい英語で遊ぼう」など、競

技スポーツだけではない魅力的な事業を展開している。

各施設で危機管理対策の一環として、AEDの管理や熱中症対策を行っている。清水ナショナルトレーニングセンターにおいては、職員への研修を実施して、危機管理マニュアルに基づいた対応や日々のAEDの管理を徹底している。

新型コロナウイルス感染症の影響により、清水ナショナルトレーニングセンターのトレーニングジムやクアプールは一時休館となったが、SNSを通して、「お家でできる筋力トレーニング」や、ストレッチの動画を公開し同施設独自の発信を行った。スポーツ推進計画における、「スポーツに関する充実してほしい情報」の中で、「自宅で簡単にできる軽運動やストレッチ法に関する情報」が取り上げられているため、今後も各施設における、SNSの有効活用に期待したい。

新型コロナウイルス感染症対策として、一部施設の臨時休館や教室事業の中止等の対応を各施設で行った。また、消毒液の配置や、職員や清掃業者による定期的な消毒を実施する等、緊急であったにも関わらず、各施設に合わせた対応を行っていた。

清水日本平運動公園球技場では芝生・施設見学会を行い、市内外多くの来場者を案内した。清水ナショナルトレーニングセンターや清水庵原球場では、地元の小中学生や大学生の見学を積極的に受入れている。これにより、普段施設を利用する機会が少ない生徒も自身の地元の施設に対する関心や興味を持つことができる。そのほか、各施設において中学生の職場体験等の受け入れを行い、教育現場への協力を行っている。引き続き可能な限り実施してほしい。

また、消防署・警察、自衛隊による訓練実施の際には、積極的に協力するなど、地域に貢献している。

利用者満足度調査においては例年通りの高い満足度であり、4施設全体での利用者数が前年度同様高い数値を維持していることは評価できるものの、募集人数に達していない教室事業や市民アンケートでの施設の認知度を向上させることも含め、新規利用者の増加及びリピーター等利用者数増加に向けてのPR活動や施設見学等の受け入れを今後も継続してほしい。

社内研修を行い、衛生講習会や顧客満足度向上研修等を開き、職員のスキルアップを図っている。静岡市の職員研修（クレーム対応、説明能力向上研修等）にも積極的に参加し、各目的に沿った研修を受講し、職員の意識向上につながっている。今後は各施設における研修活動の充実等も含めて期待したい。

施設の管理運営全般に関しては、事業計画に従い良好に実施されており、独自の多種多様な事業や利用促進を目的とした魅力ある事業展開が実施されている。さらに、4施設の有効的な連携により指定管理者制度のメリットが十分に活かされており、高く評価できる。

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。